



メーカー管理用です。

# プレアス LS (排水芯可変タイプ)

YBC-CL10HU系 YBC-CL10HYU系  
YHBC-CL10HU系 YHBC-CL10HYU系

### 取付業者さまへ

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客様に必ず本書と取扱説明書や保証書（ヒーター付便器の場合）をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

## 安全のために守ってください！

便器を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

### 用語の説明

**警告** . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

**注意** . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ . . . 「注意しなさい！」  
(必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

⊘ . . . 「してはけません！」  
(一般的な禁止記号です。)

❗ . . . 「指示通りにしなさい！」  
(一般的な行動指示記号です。)

## ⚠ 警告

**水かけ禁止** ⊘  
本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。  
※ 感電・火災の恐れがあります。  
(100V 電源使用の場合)

**分解禁止** ⊘  
絶対に分解や改造は行わないでください。  
※ 感電・火災・ケガの原因になります。  
(100V 電源使用の場合)

**ぬれ手禁止** ⊘  
ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。  
※ 感電の原因になります。  
(100V 電源使用の場合)

**水場使用禁止** ⊘  
バスルーム内など、湿気の多い場所には、設置しないでください。  
※ 感電・火災の原因となります。  
(100V 電源使用の場合)

**禁止** ⊘  
電源コードをキズつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。  
※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。  
(100V 電源使用の場合)

**禁止** ⊘  
ガタついているコンセントは使用しないでください。  
※ 感電・火災の原因になります。  
(100V 電源使用の場合)

**禁止** ⊘  
● AC100V 以外では使用しないでください。  
● タコ足配線など、定格をこえる使い方はしないでください。  
※ 火災の原因となります。  
(100V 電源使用の場合)

**指示実行** ❗  
電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。  
※ 感電・火災の原因になります。  
(100V 電源使用の場合)

## ⚠ 注意

**指示実行** ❗  
陶器は割れものです。  
● 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。  
● 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。  
※ 破損部でケガをしたり、漏水により室内浸水の原因になります。

**指示実行** ❗  
止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。  
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。

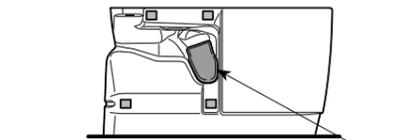
**指示実行** ❗  
お客様にお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。  
※ 凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。

## 施工前のご確認

### 開梱時の注意

⊘ 外防露材は外さないでください！

※ 外してしまうと、再度取り付けることができません。また、結露で床を濡らすことがあります。

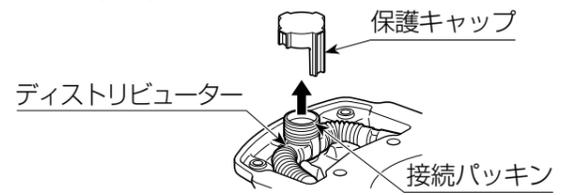


**防露材**  
防露材は便器の結露防止のための部材なので取り外さないでください。

❗ **ディストリビューターの保護キャップは、機能部取り付け直前に必ず外してください！**

※ 施工前に保護キャップを外してしまうと、接続パッキンにゴミが付着し漏水の原因になります。

※ 保護キャップを外し忘れると、機能部と正常に施工できず漏水の原因になります。



### 部品の確認 (梱包内容を確認してください。)

品番によって同梱される部材が変わります。		
便器	床フランジ用 止め金具	施工説明書
<p>便器：1台 (ヒーター仕様を手配の場合は、ヒーターコントローラーが付属しています。)</p>	<p>Tボルト：2個 ナット：2個 ワッシャー：2個 ガスケット：1個</p>	<p>施工説明書：1部</p>
排水アジャスターソケット		
<p>排水アジャスター部：1個</p>	<p>排水エルボ：1個</p>	<p>フランジ接続部：1個</p>
固定用木ねじ類	ビスキャップ付木ねじ	固定用部材セット
<p>固定用木ねじ：6本 (Φ6×40) ワッシャー：6個 (AY仕様の場合) AYボルト (AY-23W：6本) が同梱されます。</p>	<p>化粧キャップ：2個 便器固定用木ねじ：2本</p>	<p>横固定部材：2個 固定用粘着材：1個 床固定部材：1個 施工型紙：1枚</p>

### 施工手順

は本書を、は機能部同梱の施工説明書に従って正しく取り付けてください。



# 給水・排水芯範囲

## 使用する水について

●機能部に同梱している施工説明書に記載の水質・水圧条件で 接続ください。

## 止水栓・給水範囲について

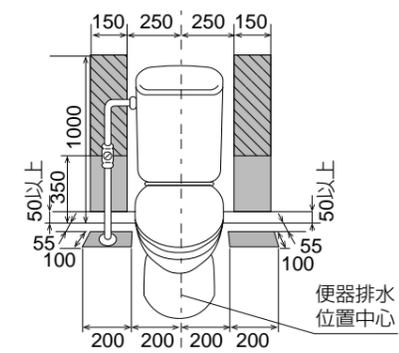
- 機能部に同梱されている止水栓を使用します。
- 給水範囲が所定の位置にあるか確認してください。対応できる給水範囲は下記になります。
- 止水栓を付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ(LF-7T を推奨)などでカバーをしてください。
- 止水栓の向きは、接続時にホースが折れないように調整してください。

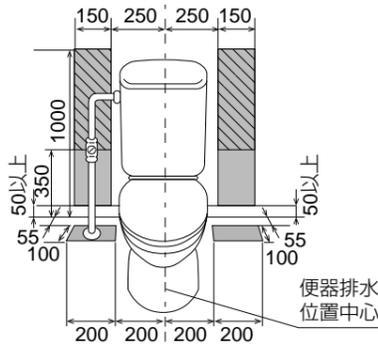
## 排水管について

- 既設便器がフランジ施工ではない場合や既設フランジを取替の場合は、ソケットアダプター(CF-200S または CF-200S-AY)を別途手配してください。
- 便器を取り付けるまで、異物が混入しないように、排水管にはビニール袋などでカバーをしてください。
- 排水位置が指定の位置であることを確認してください。 ※ 排水管が壁寄りに取り出されている場合は、機能部と壁が干渉して施工できない恐れがあります。

### A 密結・平付ロータンクの場合

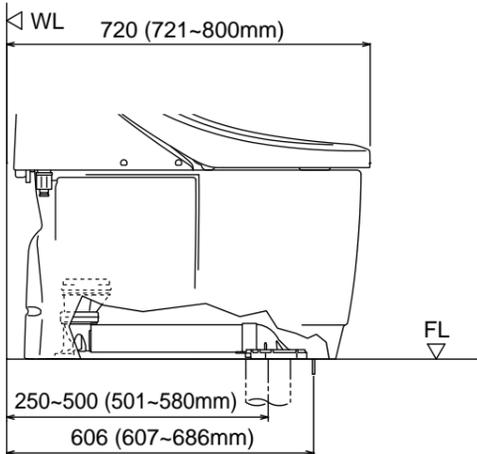
#### 給水位置

既設の便器が密結・平付ロータンク等で給水位置が右記の  の場合。  
→同梱の給水部材で設置可能です。



#### 排水芯 250 ~ 500mm (排水芯 501 ~ 580mm)

現状のフランジをそのまま使用し、取替えが可能です。  
(排水芯 501 ~ 580 mm の場合は、便器を前出して施工となります。)  
施工手順は、本書に同梱されている施工説明書にしたがってください。



#### 排水芯 200mm (別途、部材手配が必要)

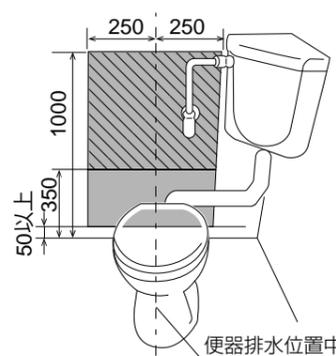
- 排水統合なしの場合  
排水芯 200mm ソケットセット (CF-CL10HG(200)-SET)
- 排水統合ありの場合  
排水芯 200mm ソケットセット (CF-CL10HGY(200)-SET)
- 施工説明書 (PAW-1427)

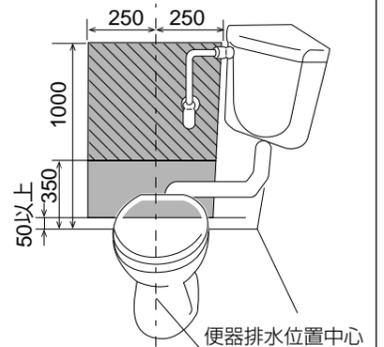
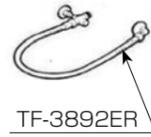
#### 排水芯 120mm (別途、部材手配が必要)

- 排水統合なしの場合  
排水芯 120mm ソケット (CF-CL10SG(120-200))
- 排水統合ありの場合  
排水芯 120mm ソケット (CF-CL10SGY(120)-SET)
- 施工説明書 (PAW-1426)
- ※カスカディーナ (DC-1000 番台、DC-2000 番台) 以外からの取替えの場合は、変換アダプター(CF-200AD)の別途手配が必要になります。

### B 隅付ロータンクの場合

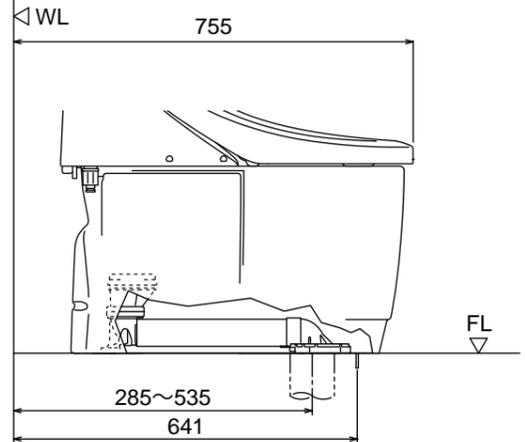
#### 給水位置

既設の便器が隅付ロータンク等で給水位置が 右記の  の場合。  
→取替用止水栓 TF-3892ER が別途必要になります。



#### 排水芯 285 ~ 535mm

① 便器を 35mm 前に出しての施工となり、便器前出寸法は大きくなります。



※排水芯 120 の場合、タンク裏面に給水取出し位置があると設置できません。

## 施工のポイント

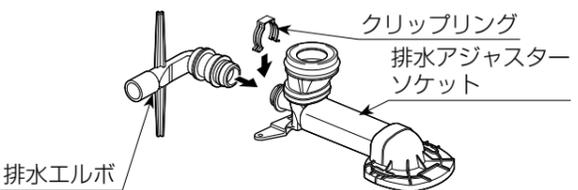
#### Point 7

取り付け時は目印シールを型紙で位置合わせて施工する。  
= ⑨ 便器の取付け

#### 排水アジャスターソケット

#### Point 2

排水アジャスターソケットを床へ固定する際には、不陸にご注意ください。  
※排水アジャスターソケットを逆勾配で設置すると、洗浄不良や詰まりの原因になります。  
= ⑦ 排水アジャスターソケットの取付け  
【給排水統合仕様の場合】  
排水アジャスターソケットの取付け前に排水エルボを取り付けてください。  
Oリングをキズつけないように注意してクリップリングを確実ににはめ込んでください。  
※きちんとはまっていないと漏水事故の原因となることがあります。

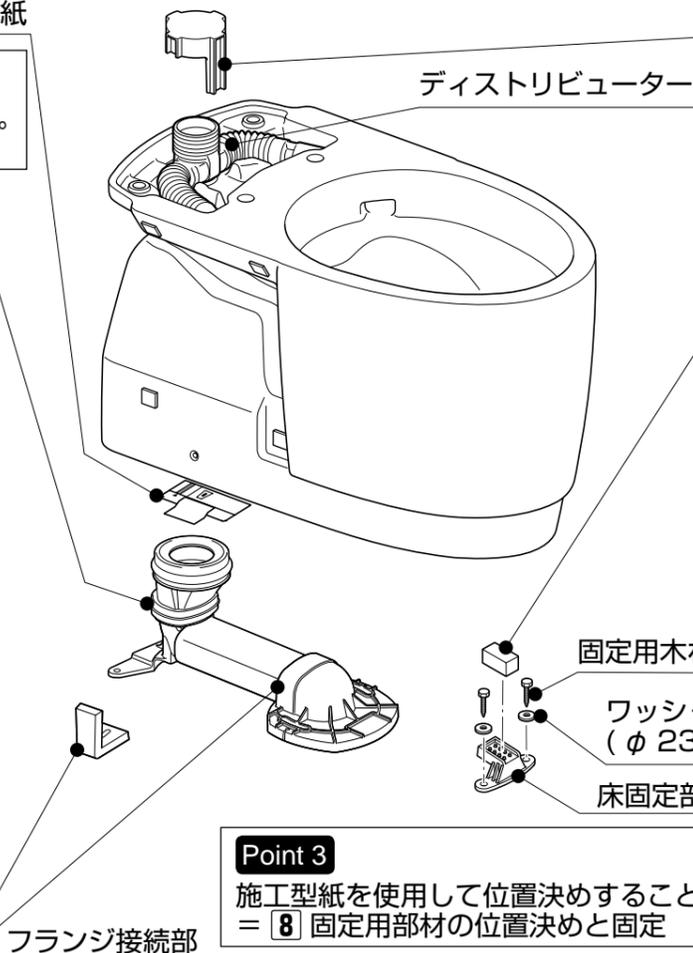


#### 横固定部材

#### Point 4

施工型紙の一部を切り取った後に床に固定すること。  
= ⑧ 固定用部材の位置決めと固定

#### 型紙



#### 保護キャップ

#### Point 8

ディストリビューターの保護キャップは、機能部取り付け直前に必ず外してください。  
= ⑪ 機能部の取付け・試運転

#### 固定用粘着材

#### Point 5

切粉等のゴミが付着しないようにしてください。付着している場合はきれいに取除いてください。  
※便器の固定不良の原因になります。  
= ⑨ 便器の取付け

#### Point 6

気温が低い場合、固定用粘着材が固くなることがあります。  
①開梱時にあらかじめズボンのポケットに入れて温める。  
② 20 ~ 30℃のぬるま湯で温めるなど、柔らかくしてからご使用ください。  
※ぬるま湯には直接入れず、包装ごとビニール袋に入れて温めてください。  
= ⑨ 便器の取付け

#### Point 9

固定用粘着材を便器に確実に圧着するため、施工完了後 24 時間は便器を上方向に引張るなどの無理な力をかけないでください。  
※十分な固定強度が得られなくなる恐れがあります。  
= 便器の取付け後のご確認

#### Point 3

施工型紙を使用して位置決めすること。  
= ⑧ 固定用部材の位置決めと固定

#### Point 1

塩ビ用接着剤は必ず両方に塗布すること。排水アジャスター部とフランジ接続部の奥まで差し込むこと。  
= ⑤ 排水アジャスター部・フランジ接続部の接着

# 施工方法

## 1 既設便器の取り外し

既設の便器を取り外し、ガスケットをきれいに取り除いてください。

## 2 止水栓の取付け

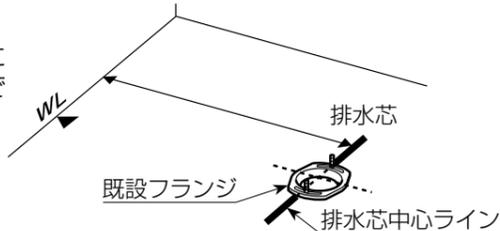
機能部同梱の止水栓を、同じく同梱の施工説を読んで施工してください。

## 3 (給排水統合仕様の場合) キャビネット・トラップカバー・手洗器の取付け

施工方法は、各商品の施工説明書をご覧ください。

## 4 排水アジャスター部の切断

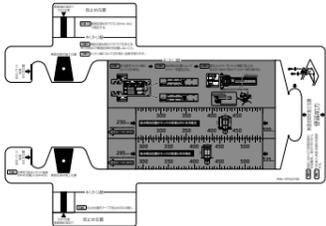
(1) 排水芯を測定する。  
排水芯中心ラインを壁と平行に書き、後ろの壁から排水芯までを測定します。



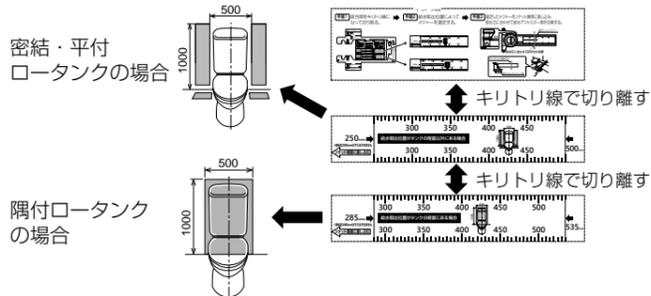
### 注意

- 便器の位置を決める重要な線です。排水芯中心ラインを必ず引いてください。  
※ 平行に線を引かないと、便器・機能部が壁に干渉する恐れがあります。

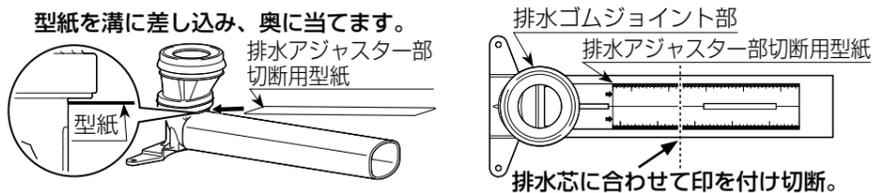
(2) 施工型紙の ■ 色部分を切り取る。



(3) 切り取った型紙のメジャーを選定する。  
給水、排水芯範囲を確認してメジャーを選定してください。  
選定したメジャーを切り取ります。



(4) 排水アジャスター部を切断する。  
切り取った型紙を排水アジャスター部の溝部に差し込み、測定した排水芯の目盛りの長さで切断します。

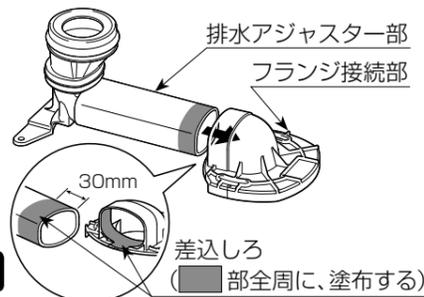


### 注意

- 排水アジャスター部やフランジ接続部を落下させないでください。  
※ 部材の損傷部から漏水する恐れがあります。
- 排水アジャスター部を長く切らないでください。  
※ 便器が壁寄りに設置されてしまうため、便器と壁が干渉し、施工できない恐れがあります。
- 切断は排水アジャスター部先端に対して平行になるように行ってください。  
※ 斜めに切断すると、漏水・臭気発生の原因になります。誤って切断した場合は、以下手配ください。
- 切断時に排水ゴムジョイント部を傷つけないようにしてください。  
※ 部材の損傷部から漏水する恐れがあります。
- 切断後、排水アジャスター部にバリ等が残らないようにしてください。  
※ バリがある事で、漏水する恐れがあります。

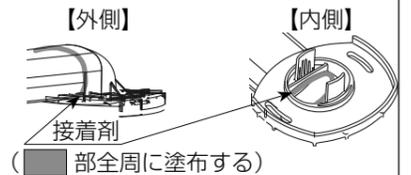
## 5 排水アジャスター部・フランジ接続部の接着

(1) 排水アジャスター部とフランジ接続部に接着剤を塗る。  
差ししろ (■ 部分) に塩ビ管用接着剤を2、3回重ね塗ります。



## 5 排水アジャスター部・フランジ接続部の接着

(2) フランジ接続部を差し込み、接続部両端に接着剤を塗る。  
フランジ接続部を奥まで差し込み、端部 ■ 色部分に塩ビ管用接着剤を塗ります。



### 注意

- Point 1** ● 奥までの差し込み・両端部に接着剤塗布が確実にしてある事を確認してください。  
※ 不十分ですと、漏水・臭気発生の原因になります。
- Point 2** ● 給排水統合仕様の場合、排水アジャスターソケットの取付け前に排水エルボをクリッピングで取り付けてください。

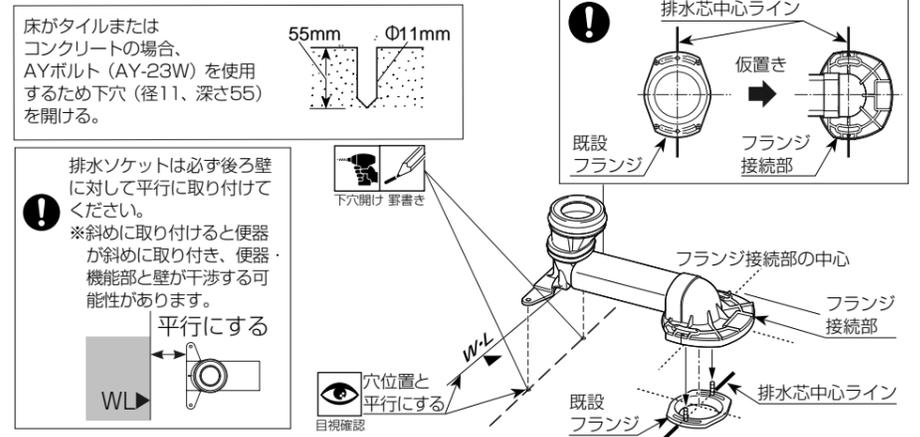


## 6 (給排水統合仕様の場合) 排水ホースの取付け

施工方法は、各商品の施工説明書をご覧ください。

## 7 排水アジャスターソケットの取付け

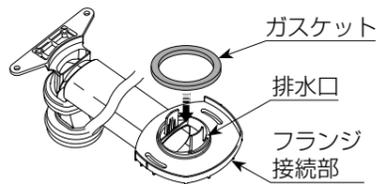
(1) 排水アジャスターソケットを仮置きし、けがき・下穴を開ける。  
④で引いた排水芯中心ラインとフランジ接続部の排水芯中心を合わせて排水アジャスターソケットを後壁に対して平行に仮置きし、けがき・下穴を開けます。



### 注意

- Point 2** ● 排水アジャスターソケットの仮置き時に、床面の傾きや不陸を確認ください。  
※ 排水アジャスターソケットを逆勾配で設置すると、洗浄不良や詰まりの原因になります。

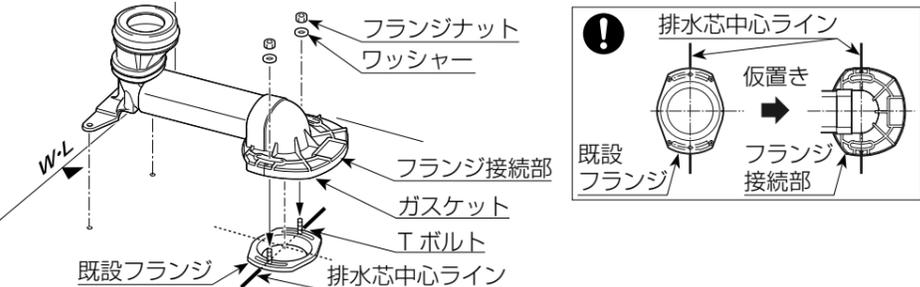
(2) 排水アジャスターソケットにガスケットをつける。  
排水アジャスターソケットを外して反転させ、フランジ接続部にガスケットをつけます。



### 注意

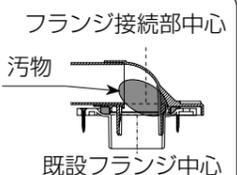
- 既設フランジにフランジ接続部を取り付ける際は、既設フランジの中心とフランジ接続部の中心をあわせてください。  
※ フランジ接続部がずれて施工されると、詰まりが発生する恐れがあります。

(3) 排水アジャスターソケットを既設フランジに固定する。  
再度、排水芯中心ラインとフランジ接続部の排水芯中心を合わせて同梱の床フランジ用止め金具を使用し固定します。

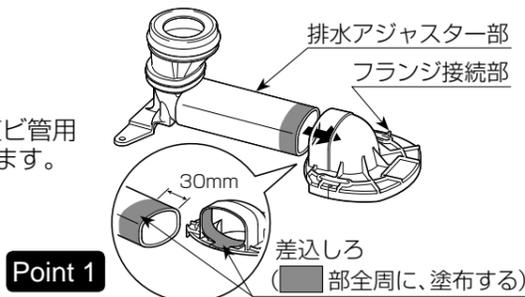


### 注意

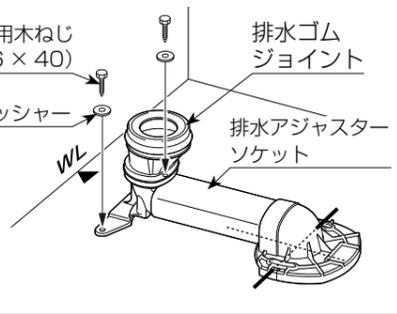
- 既設フランジにフランジ接続部を取り付ける際は、既設フランジの中心とフランジ接続部の中心をあわせてください。  
※ フランジ接続部がずれて施工されると、詰まりが発生する恐れがあります。
- フランジナットで固定の際は、締め過ぎないようにしてください。  
※ 既設フランジが破損し、漏水する恐れがあります。



(4) 排水アジャスターソケットを床に固定する。  
固定用木ねじ・ワッシャーまたはAYボルトのねじを使用し固定します。

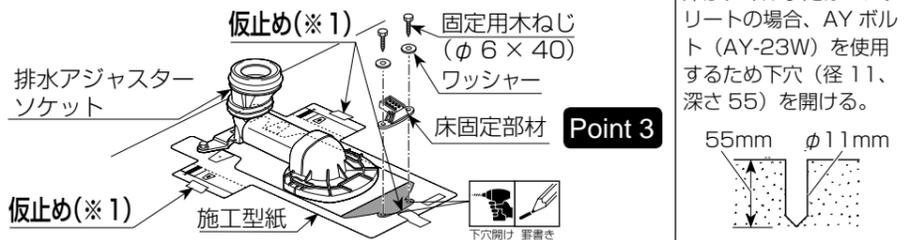


(5) 排水アジャスターソケットの接続部の漏水確認をする。  
排水ゴムジョイント側から水を流し、接続部から漏水が無いことを確認します。

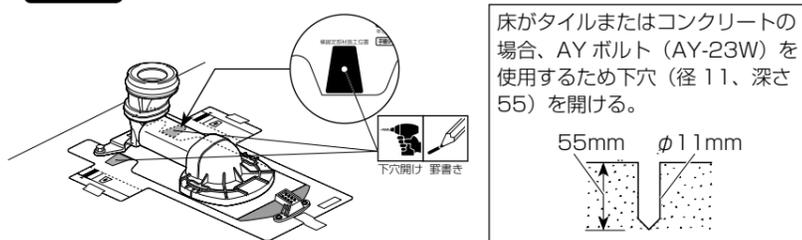


## 8 固定用部材の位置決めと固定

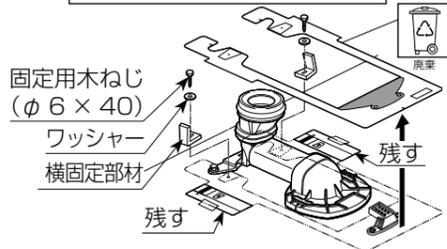
- 施工型紙を仮止めする。  
排水ソケットの後端に合わせて施工型紙をマスキングテープ等で仮止めします。※1
- 床固定部材の穴位置をけがき・下穴を開ける。  
**Point 3** ●施工型紙に合わせて床固定部材の穴位置をけがき・下穴を開けます。
- 床固定部材を固定する。  
施工型紙に合わせて床固定部材を固定用木ねじ・ワッシャー（またはAYボルト）を使用し、固定します。



- 横固定部材の穴位置をけがき・下穴を開ける。  
施工型紙に合わせて横固定部材の穴位置をけがき・下穴を開けます。  
**Point 4** ●この時点では横固定部材は設置しないでください。



- 施工型紙の一部を切り取り、横固定部材を床に固定する。  
仮止めした施工型紙の両端以外を切り取り、横固定部材を固定用木ねじまたはAYボルトを使用し固定します。



## 9 便器の取付け

- 固定用粘着材を床固定部材に置く。  
固定用粘着材を床固定部材の中心に押し付けながら置きます。  
固定用粘着材を床固定部材に押し付ける。
- 包装紙を剥がす。  
固定用粘着材が剥がれないように固定用粘着材を押さえながら包装紙を剥がします。



### 注意

- 固定用粘着材に水気や汚れが付かないようにしてください。  
※便器の固定不良の原因になります。

- Point 5** ●切粉等のゴミが付着しないようにしてください。付着している場合はきれいに取除いてください。  
※便器の固定不良の原因になります。

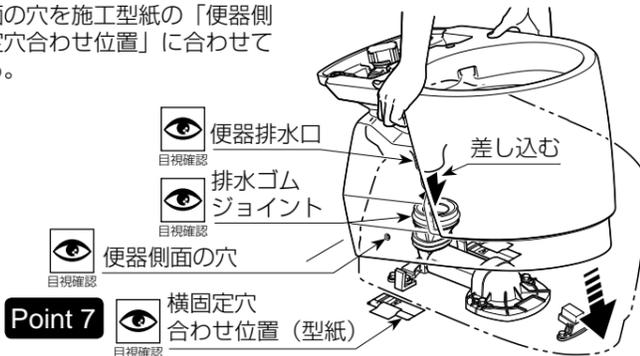
- Point 6** ●気温が低い場合、固定用粘着材が固くなる場合があります。  
①開梱時にあらかじめズボンのポケットに入れて温める。  
②20～30℃のぬるま湯で温めるなど、柔らかくしてからご使用ください。  
※ぬるま湯には直接入れず、包装ごとビニール袋に入れて温めてください。

- 床固定部材の全ての突起部が粘着材に食い込む位置で押し付けてください。目安の高さ約15mm  
※固定用粘着材の位置ずれやはみ出しがあると、固定不良となる可能性があります。

- 床固定部材に粘着材を押し付ける力は粘着材が突起に食い込む程度とし、強く押し付けすぎないようにしてください。  
※押し付けすぎると固定不良となる可能性があります。

- 便器と排水ソケットを接続し、固定用粘着材を圧着する。  
①便器を持ち上げ、施工型紙の「横固定穴合わせ位置」便器前方を浮かせたまま便器排水口を排水ソケットのゴムジョイントに差し込みます。

- Point 7** ●便器側面の穴を施工型紙の「便器側面の固定穴合わせ位置」に合わせて施工する。

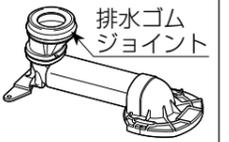


- ②施工型紙で左右・前後の位置を合わせます。
- ③便器と床固定部材を固定用粘着材で圧着させます。  
便器をゆっくり下ろしてから、床と便器の隙間がなくなるまで便器前側を押し下げます。

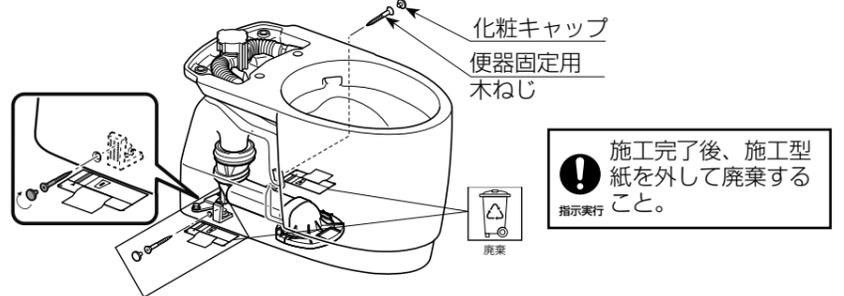
## 9 便器の取付け

### 注意

- 便器の台座を排水ソケットの上に乗せないでください。  
※排水ソケットが破損したり、排水ゴムジョイントを傷めて漏水する恐れがあります。
- 便器排水口は排水ゴムジョイントの中心にくるように、便器の前後左右がずれないようにしてください。  
※汚物、トイレットペーパーなどのつまりの原因になります。
- 便器を外す際、便器後部にある固定用木ねじで便器をキズつけないように注意してください。



- 便器を便器固定用木ねじで固定し、化粧キャップをつける。  
便器側面を便器固定用木ねじで固定し、化粧キャップを時計回りに回して取り付けます。



### 注意

- 便器固定用木ねじは、左右交互に少しずつ締め、締め過ぎないようにしてください。  
※便器の固定不良や破損の原因になります。
- 化粧キャップはねじ固定構造となっています。化粧キャップは必ず回して着脱してください。  
※逆に回したり、無理に引き剥がした場合、破損の恐れがあります。

## 10 (ヒーター付便器の場合) ヒーターコントローラーの取付け

- ヒーターコントローラーの取付位置を決め、固定する。  
電源コードの長さ(1.5m)を考慮して、木ねじで固定します。

- 電源をつけ、ランプの点灯・消灯を確認する。  
ヒーターコントローラー電源プラグをコンセント(AC100V)に差し込み、電源ランプ(オレンジ色)は点灯、故障ランプ(赤色)は消灯していることを確認します。



## 11 機能部の取付け・試運転

機能部の施工説明書に従って取り付けてください。

- Point 8** ●ディストリビューターの保護キャップは、機能部取り付け直前に必ず外してください。  
※施工前に保護キャップを外してしまうと、パッキンにゴミが付着し漏水が発生する恐れがあります。



## 12 (給排水統合仕様の場合) 前パネル・配管カバーの取付け

施工方法は、各商品の施工説明書に従って取り付けてください。

## 13 サイドカバーの取付け

機能部に同梱の施工説明書に従って取り付けてください。  
サイドカバーは機能部に同梱されています。

## 便器の取付後のご確認

- 陶器表面にキズなどが無いことを確認してください。  
スジ状の線がついた場合には、市販のメラミンスポンジに十分水を含ませ、擦り洗いをして除去してください。それでも取れない場合は、トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、1時間程度付着した部分にあてて放置した後、布で拭き取ってください。その後、中性洗剤で洗い流してください。  
※洗剤の気化したガスが故障・破損の原因になるので、便座・便フタは開けたまま、十分に換気をした状態で行ってください。

### 外観汚れ処置方法について、参考動画があります。

- 詳細は右から読み取って、動画をご覧ください。  
※通信料はお客さまのご負担となります。  
※お使いの環境・端末によっては、閲覧できない場合があります。  
※実物と動画のデザインが異なる場合があります。



- 施工完了後は、必ず試運転をして「漏水検査、水漏れ検査」を行ってください。  
検査内容は、機能部の施工説明書を確認ください。  
※取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- 施工完了からお客さまにお渡しするまでに、凍結の恐れがある場合は、水栓や給水ホースから水を抜いてください。
- 施工完了からしばらく長期間にわたり通水をしない場合は、トラップに水を入れておいてください。  
※排水管からの臭いガスにより、商品の内部金具がさびる恐れがあります。
- 給水管接続及び通水検査、水漏れ点検は必ず水道工事店様が行ってください。

- Point 9** ●固定用粘着材を便器に確実に圧着するため、施工完了後24時間は便器を上方向に引張るなどの無理な力をかけないでください。  
※十分な固定強度が得られなくなる恐れがあります。

- 不要部材を処分する場合は、必ず公的認可を受けている業者に依頼してください。
- 施工終了後 本書を取扱説明書とともに、お客さまにお渡しください。